

みかわ地域だより 14号

発行日:平成25年3月

発行元:三川地区公民館



2月22日 天領小学校学習発表会

どの学年も元気で大きな声を出して、歌ったり演奏したり一生懸命がんばって発表している姿に胸が熱くなりました。高学年になるほど、ドラム、太鼓等力強く、元気いっぱいに演奏しているのにはびっくりし先生方のご指導も大変だったろうと思いました。

特に5、6年生の赤、青、黄、ピンクのハッピーを着用し和太鼓で四季を表現し、特に夏の大蛇山の鐘、太鼓、そして勇壮な山を連想させる山まででてきたのには驚き、とても小学生とは思えぬような迫力に満ちた演技には涙が出るほど感動しました。

やはり、生徒数が多いからできた迫力のある演技だったと思います

6年生にとってはこの元気と団結そして助け合い、思いやり、何でもやろうと思って頑張ればできるということを学んだと思います。そして、人の痛みのわかる優しい心を持った中学生になってほしいと思います。

このような行事があるたびに、学校、地域、生徒、保護者が顔を合わせ顔見知りとなり地域間の交流も密になっていくと思います。

天領小学校の先生方、そして生徒の皆さん、大きな感動をありがとうございました。

(天領校区 塚本千草)



天領小学校5・6年生の和太鼓の様子

2月16日 大牟田市町内公民館研究大会

天領校区町内公民館連絡協議会の大滝裕久会長が『天領校区(旧諏訪・川尻あわせて100選)』の取り組みの事例発表をされました。

この事業は、平成22年4月に『天領校区』としてスタートした旧諏訪・川尻両校区の住民が親睦を深めるために、3年間にわたり継続されているものです。平成22年度には、住民自身が地域の魅力を掘り起こし、次世代に伝え残したい旧跡や生活習慣等の地域のお宝88個を選びました。そして平成23・24年度はその資料をもとに「天領校区よかところめぐり」として天領小学校児童及び地域住民とともにウォーキングを実施しています。

今回の発表では、まちのお宝88個を選ぶまでのいきさつや苦労話を話されました。

また、スライドショーを使用しながら、天領校区(旧諏訪・川尻)のお宝について説明をされました。いずれのお話しも地域に対する思いや愛着心が伝わってくるものでした。

会場にお越しの天領校区の方々も初めて知ることも多かったとおっしゃっていました。

これからも地域住民の絆を強めていくた

めに「天領校区よかところめぐり」は継続される予定だそうです。



天領校区町内公民館連絡協議会
会長 大滝裕久さん

現在、三川地区公民館では「旧諏訪小メモリアル写真展」実施中!

「すわ小」は小学校児童による人文字です



平成2年頃の諏訪校区連絡協議会主催の運動会での仮装行列の様子です。お2人とも旧諏訪北公民館の男性です。とても楽しい運動会だったそうです。

三川地区公民館では2月末より「旧諏訪小メモリアル写真展」を実施しています。1988年の航空写真や教室、敬老会、どんと焼き等の懐かしい写真(約100枚)を展示しています。皆様のたくさんのご来館をお待ちしています。